

初山別村立初山別小学校

【総合的な学習の時間、社会】

■ 地域住民・関係団体の協力による農業体験活動

★活動に関連する目指す子ども像



「自ら考え、自ら学ぶ子ども」

「豊かな体験から学び、地域への感謝と愛着をもつ子ども」

□ 活動の概要



初山別地域の農業に係る探究的な学習や継続した体験活動を通して、地域への感謝と愛着を育むとともに、農業に対する興味・関心を高めることをねらいとして、総合的な学習の時間と社会科を関連付けながら、保護者・地域住民・関係団体の協力のもと、体験活動を実施しています。

□ 活動の具体

- ・ 地域住民の協力のもと、5月下旬に田植え、9月下旬に稲刈り、10月下旬に脱穀体験を実施するなど、手作業と機械の両方を体験したり、農家の方にインタビューしたりすることにより、農業の苦労や移り変わりを学んだり、課題を追究したりしています。
- ・ 米作りのほかに牧場を訪問し、畜産の仕事について体験したり学んだりするなど、多様な体験活動により、学びの充実を図っています。

□ 教育課程上の工夫

- ・ 第5学年社会科「未来を支える食糧生産」と体験活動を関連付けて実施することにより、学習の理解がより深まるように工夫しています。
- ・ 各学年において、児童が地域で働く人との交流や体験活動を充実できるよう、関係団体等と連携を図った学習活動を年間指導計画に位置付けています。